

【B 学校ICTの整備と活用について】

1 概要

全中学校9校及び、建替え、大規模改修により校内LANが敷設された小学校2校（第一小学校、第九小学校）について、タブレット端末を導入し、平成27年11月1日から使用を開始した。また、平成27年度中に小学校18校への校内LANの敷設を行うとともに、中学校に指導用の電子教科書を導入する。

2 導入台数

(1) 小学校

使用区分	端末種別	一小	九小	合計
指導用	Windows タブレット	16	22	38
児童用	Windows タブレット	7	7	14
特別支援用	ipad	8	15	23
合計		31	44	75

(2) 中学校

使用区分	端末種別	一中	二中	三中	四中	五中	六中	七中	八中	九中	合計
指導用	Windows タブレット	22	21	21	19	29	18	18	14	15	177
生徒用	Windows タブレット	40	40	40	40	40	40	40	40	40	360
特別支援用	ipad	11	4			13					28
合計		73	65	61	59	82	58	58	54	55	565

3 導入機器

(1) ハードウェア

①指導用タブレット

- ・ Microsoft 製 Surface Pro3
- ・ 画面サイズ：12インチ
- ・ OS：Windows 8.1 Pro
- ・ メモリ：4GB
- ・ 着脱型専用キーボード付

②児童生徒用タブレット

- ・ HP 製 HP Pro Tablet 10 EE G1
- ・ 画面サイズ：10.1インチ
- ・ OS：Windows 8.1 Pro
- ・ メモリ：2GB

③特別支援学級用

- ・ iPad Air 2 16GB
- ・ 画面サイズ：9.7インチ
- ・ OS：ios



(2) ソフトウェア

①事務用総合ソフト (Microsoft Office)

②授業支援ソフト（SKYMENU Class）児童生徒機の画面を集約したり、教材の配信等ができる。

③教材ソフト

（ミライシード）児童生徒の意見をリアルタイムで共有し、整理・分析できる。

（アンサーボックスクリエーター）児童生徒がタブレットに解答すると、簡単に採点・集計ができる。

（オープンノート）専用のペンで紙に手書きしたものが、先生機に瞬時にデジタル化される。←小学校のみ

4 活用に向けた取組

(1) ねらい

・ICTによる「新しい学び」を創造する。

(2) 基本方針

①全教員が、タブレット端末を活用した授業を実践する。【使ってみる】

➤写真や映像教材の活用から始める。

②活用事例を参考に実践する。

➤他校や校内の実践を活用する。

③効果的な事例を開発し、全校で共有する。

➤研究校や開発委員会の成果を活用する。

【効果的に使う】



(3) 具体的な取組

①ICT教育推進研究校

➤日本マイクロソフト株式会社と連携した研究を行う。

②ICT教育開発委員会（仮称）

➤教育委員会主催の委員会にて、教員による活用事例・指導案・コンテンツ等を開発する。

③教員研修

➤年次研修、夏季教員研修、校内研修において、活用方法の研修を行う。

④コンテンツライブラリーの構築

➤研究校、先進校、個人が開発・実践した活用事例を共有できるシステムを構築する。

5 平成28年度の戦略

小学校各校にタブレット端末を40台導入する予定であり、さらなる活用に向けて平成27年度から先行して一部取り組んでいる上記4の内容を継続実施することにより、主体的な課題解決型の授業への転換を図り、子ども達の学力向上を目指す。